

# 外国の文化や歴史を肌で感じて

## 中高生徒海外派遣研修の出発激励会が行われる

七月三十日に総合福祉センターで、厚真町中高生徒海外派遣研修出発激励会（主催／町中学校国際理解教育推進委員会・教育委員会）が、派遣団二十一人、その保護者などが集まり行われました。

昨年はSARS（重症急性呼吸器症候群）などの影響で中止となりましたが、今年はオーストラリアへ七日間の日程で研修します。研修では、ホームステイや地元との交流もあり、その準備のため四回の事前研修も行ってきました。

出発激励会では、生徒一人ひとりから出発にあたり抱負が述べられ、「恥ずかしながらに地元の人と会話して、交流を深めたい」と胸を膨らませ、出発激励会終了後に海外へと旅立ちました。



一人ひとり研修の抱負を述べた出発激励会

## 「この魚はなんだろう？」 田んぼの生き物調査で

国営かんがい排水事業が行われている豊沢地区の農業用排水路で、7月15日に室蘭開発建設部などにより、「田んぼの生き物調査」が上厚真小学校(山田雅道校長)の3・4年生が参加して行われました。子どもたちは、たもを上手に使い、普段見ることが少ない種類の魚やカエルなどの生き物を興味深く観察していました。この調査は、別の日にも軽舞小、富野小の児童が参加して行われました。



用水にたも網を入れる児童たち

捨てられているゴミの種類を記入



## 札幌の会社員の方々が 浜厚真海岸のごみの清掃と調査

サーフィンなどのアウトドアスポーツを共通の趣味にもつ札幌の会社員14人が、6月28日に浜厚真海岸でゴミを拾い、そのゴミの種類を調査しました。

約1時間でゴミ袋35袋のゴミを拾い、ゴミの種類ワースト3は、飲料缶が174缶、ペットボトル166本、プラスチックや袋の破片147個だったそうです。

会社員によると「浜厚真の海岸はロープやひもなどの産業廃棄物も落ちているのが目立ちますね」と感想を述べていました。

## ありがとうタサユさん ようこそジェニファーさん



タサユさん（左）とジェニファーさん

七月二十九日、総合福祉センターで英語指導助手のタサユさん・ジェニファーさんとジェニファー・フレディさんの送別式・歓迎式が開催されました。

タサユさんは、平成十三年八月にアメリカ合衆国から厚真に着任し、三年間、中学校などで英語指導で手腕をふるい、子どもたちからは、公私にわたり慕われていました。タサユさんの後任には、アメリカ合衆国からジェニファーさんが二十八日に来町しました。

タサユさんは、「厚真はハートフルな町。三年間は本当によい経験だった」と流暢な日本語で挨拶しました。

## ガーデニング講習会で草花の特性を学ぶ

厚真町コミュニティ運動推進協議会（小松岩雄会長）主催により、7月17日にガーデニング講習会が総合福祉センターを会場に行われました。

富士田裕子さん（北海道大学助教授）の講演と寄せ植えの実習の2本立ての内容に、参加者50人は熱心に耳を傾けたり、きれいに花を植え込んでいました。



## 幅田さん（朝日）と近藤くん（上小6年）が空手で全道優勝

7月24日～25日の2日間にわたり札幌市で行われたチャレンジカラテーナメント2004で、幅田洋司さん（朝日）と富川空手少年団所属の近藤大河くん（上厚真小6年）が優勝しました。

幅田さんは、組手一般初級の部、近藤くんは組手小学6年男子の部に出場。

両選手とも見事な技さばきで栄冠を勝ち取り、全国大会への出場を手に入れました。

また、幅田さんはこの大会の最優秀選手MVPベストファイト賞にも選ばれました。



幅田さん（上）と近藤くん



## 森林保全巡視指導員16年の 内山さんへ感謝状の贈呈

七月九日に総合福祉センターで北海道胆振支庁長から内山勇さん（上厚真・七十八歳）へ感謝状が贈呈されました。

内山さんは、昭和六十三年から十六年間、山火事の防止や保安林の保全のための森林パトロールなどを行う森林保全巡視指導員として活躍されました。感謝状はその退任にあたる授与で、北海道胆振支庁林務課小沢主幹から手渡されました。



## 厚真の食材を使った給食 「あつまの日」を満喫

学校給食センターでは、七月から十月までの間月一回、牛乳と調味料以外はすべて厚真産の食材を使った「あつまの日」を設けています。

七月の厚真の日のメニューは、チキンカレー・ホッキ貝と小松菜のごま和え・メロンで、中央小学校（近藤茂校長）一年生の児童たちは、おかわりをするなど、厚真の味をおいしそうに食べていました。